

特集：大学説明会

学生による大学説明 —学生宿舎生活の紹介—

石川 翔一（筑波大学 生物学類 1年）

こんにちは! 生物学類の石川翔一です。僕からは宿舎についての説明をします。

筑波大は、このように田舎にあるので、自宅から通うのには不便です。だからほとんどの筑波生は一人暮らしをしています。これは一年生でも例外ではないです。

そこで、大学側は「学生宿舎」を用意してくれております。これは部屋数が本当に充実していて、多く学生が利用しています。しかも新入生を優先的に入れてくれるので、毎年多くの新入生がこれに入居して、およそ生まれてのはじめての一人暮らしをスタートさせます。

今までずっと宿舎宿舎と言ってきましたが、これは「寮」とは違います。寮だったら寮母さんがいてご飯を作ってくれたり身の回りの世話をしてくれたり、門限があったりしますが、宿舎にはそういったものは一切ありません。基本的に自由なので、かなり勝手気ままに楽しめます! しかし炊事洗濯掃除をすべて自分でやらなければならないので、ここは面倒くさいです。男の僕にはしんどいです。

ここで宿舎の利点について述べたいと思います。

まず、学校がとても近いです。筑波大の限は8時40分から始まりますが、宿舎にいれば8時起きでも間に合います。僕は普段8時過ぎくらいに起きて、8時30分くらいに出発しますが、自転車です少し飛ばせば5分で到着します。朝はかなりゆっくり出来るので、朝に弱い僕はかなり助かっています。

次に友達が出来やすいです。本当にたくさんの一年生が入居するので、周りには自分と同年代の人が多いため話がしやすいです。また、宿舎には同学類の友達もたくさんいますが、同時に他学類

の人も多くいます。ここで、僕は是非とも他学類の人とよい友人関係を結んでほしいなと思います。というのも、サークルや部活のでも入らない限り、他学類の人と接する機会は皆無に等しいです。やはり、視野を広げるためにもいろんな人と接するべきだと思います。せっかく筑波みたいに大きな大学に入ったなら、いろんな人と接するべきです。その場を作ってくれるのが宿舎です。

また、友達が多いことから、誰かの部屋に集まって宴会したり一晩中語り合ったりと、本当に楽しいです。

最後に、フトコロに優しいです。部屋には内線電話や無線LANが通っているので、これらを使えばタダで電話とインターネットがし放題です。あと、ガス水道もタダですし、電気代も驚くほど安いです、

いいことばかり言ってきましたけど、もちろん欠点だってあります。宿舎周辺は野良猫(たまに野良犬)や虫がたくさんいますが、部屋の窓やドアを閉めていても虫が侵入して来たりします。また、壁が薄いので、少し大きな声出して会話すれば余裕でお隣さんに声が聞こえてしまいます。あまり大きな声で話すと、自分で自分のプライバシーを侵害してしまうことになりかねません。

こんな感じですね、宿舎暮らしは、とにかく面白いです。いろんなドラマにめぐり合えます。来年、皆さんが筑波に入学したら、是非とも宿舎に入ってみてください!

以上で宿舎の説明は終わります! ありがとうございます!

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 17, 2007.